



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	19-0203-0	版	7.01
発行日	2024/01/18	前発行日	2023/09/18

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] セラミックベルト 5610, 5612, 5614, 5620 (粒度 40, 60)

3M スtockナンバー

JC-1700-0050-2	JC-1700-0051-0	JC-3100-0084-2	JC-3100-0085-9	JC-3100-0086-7
JC-3200-2951-8	JC-3200-2953-4	JC-3200-2955-9		

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車アフターマーケットにおける金属研磨

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2B

皮膚感作性： 区分1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 骨格筋。 呼吸器
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P337 + P313	目の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
酸化アルミニウム	1344-28-1	30 - 40

フェノール・ホルムアルデヒド重合物 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物)	9003-35-4	15 - 40
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	10 - 30
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	16
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	10
炭酸カルシウム	471-34-1	1 - 10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 他のセクションの使用上の注意を見る。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。 消費者用用途への販売、使用禁止。 損傷した製品は使用中に砕け散り、顔や眼に重傷をもたらすことがある。 使用前に亀裂や欠け跡があるかを確認する。 損傷がある場合は取り替える。 研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。 本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。 製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m ³	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性分画):1mg/m ³	A4:ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
不活性あるいは有害なダスト	1344-28-1	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間):0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不溶性アルミニウム、化合物	15096-52-3	ACGIH	TWA(吸入性分画):1mg/m ³	A4:ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
フッ化物	15096-52-3	ACGIH	TWA(フッ素として):2.5mg/m ³	A4:ヒトに対して発がん性物質として分類で

				きない物質
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

切削、研削、研磨、旋削時に適切な局排換気を行う。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。警告：有害物が発生するおそれがある。局所排気を利用する。粉塵発生源付近での暴露抑制及び作業区域への粉塵の流入防止のために製造現場に局所排気を準備・提供する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

推奨される手袋の材質：ニトリルゴム

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な保護マスクを選択して使用すること。

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

使い捨て式防じんマスクまたは取替え式防じんマスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ベルト状。
色	茶色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	適用しない
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	データはない。
比重	0.5 - 2.9 [参照基準: 水=1]
溶解度	適用しない
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。切断、研磨、機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、しわがれ声、喘鳴、呼吸困難、鼻と喉の痛み、吐血など。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。機械的な皮膚刺激：創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

中程度の眼の刺激：発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。機械的な眼刺激：疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

硬組織への影響：歯や爪の色の变化、骨や歯、爪の成長の変化及び骨の脆弱化、脱毛など。吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

追加情報

このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	経口摂取	ラット	LD50 > 2,900 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,100 mg/kg
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 4.5 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	経口摂取	ラット	LD50 5,000 mg/kg
テトラフルオロホウ酸カリウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
炭酸カルシウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カルシウム	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 3 mg/l
炭酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
テトラフルオロホウ酸カリウム	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 5.3 mg/l
テトラフルオロホウ酸カリウム	経口摂取	ラット	LD50 5,854 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	軽度の刺激
ポリエチレンテレフタレート	In vitro data	刺激性なし
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	多種類の動物種	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
テトラフルオロホウ酸カリウム	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	中程度の刺激
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	刺激性なし
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	ウサギ	軽度の刺激
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
テトラフルオロホウ酸カリウム	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト及び動物	感作性あり
ポリエチレンテレフタレート	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
ポリエチレンテレフタレート	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812	90 分

	場合			mg/l	
--	----	--	--	------	--

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フェノール・ホルムアルデヒド重合物 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ポリエチレンテレフタレート	経口摂取	心臓 皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 肝臓 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	13 週
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.0005 mg/l	5 月
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.00021 mg/l	90 日
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.58 mg/kg/day	14 週
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)

GHS 水生環境有害性 (急性) 区分 3 : 水生生物に有害。

水生環境有害性 長期 (慢性)

GHS 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	バクテリア	実験	18 時間	EC50	550 mg/l
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	ゴールデンオルフエ (鯉)	実験	96 時間	LC50	760 mg/l
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
テトラフルオ	14075-53-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	188 mg/l

ロホウ酸カリウム						
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	液状化	実験	3 時間	EC50	>160 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	8.8 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	42.5 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5 mg/l
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	15096-52-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	3 %BOD/ThOD	
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
合成氷晶石	15096-52-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

(六フッ化アルミニウムナトリウム)						
-------------------	--	--	--	--	--	--

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.57	
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テトラフルオロホウ酸カリウム	14075-53-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
合成氷晶石 (六フッ化アルミニウムナトリウム)	15096-52-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

化管法：第 1 種指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
テトラフルオロホウ酸カリウム	弗素及びその水溶性無機化合物	該当	該当
合成氷晶石 (六フッ化アルミン酸ナトリウム)	ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
テトラフルオロホウ酸カリウム	ホウ素化合物 (ホウ素として)	405	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 8：作業環境許容値 情報修正。

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正。

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本 SDS の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本

国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。